

時事報

て官民共同事を與にするの美風を述りたらんには所謂國立の事業を起して公共の便益と謀ると思ひも寄らぬ事ある可し現に今日の處にても西洋諸國にては公共の便益を目的とする事業にて所謂國立に係るもの少あからずと雖ども我國にて國立の名を冠す可きものは彼の國立銀行の外、別に其物ありとも思はれず遺憾千萬と申す可あり今試に我國の状勢を察みて社會公共の便益を目的とする事業即ち國立に屬すべき事業にて施設の急ど要するものありや如何と云ふに其事多々枚舉するに暇あらずと雖ども我輩の所見にて最急要なりと信するものハ我商工業と獎勵するの方便として國立美術館及び國立輸出品見本經覽所を設置すると即ち是なり凡そ美術と獎勵する其道固より多端ある可亥と雖ども古今名工巨匠の手に成りゆる品物を網羅して其意匠風神の存する所と示し以て後進美術家の智巧を發達すると最も簡便有益なるが故に西洋諸國ふてハ美術獎勵の方便として到る處より古美術館の設けありと云ふ我國の如き美術智巧の事ハ古來割合に發達未て時に名工巨匠を出玄彫刻圖畫等傳神の妙を得たる者今尙全國到る處に散在亥特に帝室の敕封庫大寺巨刹及び貴人名流の家には拔群絶類の古美術品を存するとならんなれば我國にて一旦國立美術館と設けく之を網羅亥さらんとは後進美術家の智巧と競ひると中々鮮少ならざる可し又目下我國の商人は一般に外國に事情と知らず外國貿易の局に當るものにても如何ある品物が外國人に適致て大小精粗類何なる工合が彼地の流行に應するや其邊に事情に漠然たるが故に胸器を輸出すれば恰好模様色彩等往々彼色の意に適せむ布帛を輸送すれば其寸尺等外國向きに適せず其他凡百の商品と撰定するに總べて日本流の考を以てして風俗習慣を異にする外國人向きと適せんとぞ謀るが故に毎度失敗して海外の嘲笑と招く

國立の事業者を官と云ひ被治者を民と云ひ官民を合めたる一体を國と云ふ例へば今日俗間の稱呼ふ於て政府の手おて管理する學校を官立學校と唱へ人民の私設ける會社を民立會社と稱し官民公共の銀行を國立銀行と云ふを見ても亦其一斑を知る可きあり蓋し人事は様々にして官の手を以て管理せるの周到あるに若かざるものあり或は又人民に私に任するの得策なるに若かざるものありと雖とも事柄よ因りては官民公共所謂國立の資格を有せしむるを以て最も適當なりとするものなきに非ず然るに今日我國の實際に於ては官民共同と云へる思想甚だ乏しく一般人民の官は事業に對して利害の關係甚だ薄く遠國の人が他郷の祭禮と見物すると一般、雲烟過眼初より之に關心するとなく又官の方にても一般人民の事業に關心てい思ひの外に無縁故の待遇と爲すが如き場合少からず斯くて官民相對して互に共同の事業を談せず其極端の事例を云へば双方相謀りて事を與にするゝ引替へ或は一方の事業の性質如何も拘はらず暗々裏よ其不利を顧みざる等の僻見僻行なきを期す可らず例へば近來世に演劇改良論なり朝野の貴顯紳士が珍らしく打揃ふて共に之と賛成し共に其改良と謀るを見て或る一部の人は暗に之を喜ばずコレ式に事に貴顕紳士が打揃ふて手と煩はずも及ぶまぢと云ひ改良と云へば政治上其他に一層必要なる改良もあるべきと彼を後にして此と先にするは奇怪なりと嘲り社會改良と政治改良との其趣稍異なるを知らずして謂をもあく之を阻止せんと試むるものなるが如玄肛門の狹きとや云はん、限孔の小と申すべし、此に斯かる必力多く

のみあらず資本不足なる我國の商人等は此一敗に避易して忽ち收縮するもの少なからずと云へり左れば此等の人々の便宜に爲先我國に國立の輸出品見本総覽所を設け毎便船に西洋各國の流行品見本を取寄せ海外輸出も適する物品は恰好摸様等を調査して之を一般人に示すときは其向きの人も幾分か摸範を取る所を知り杓子を以て耳搔きの注文に應するやうの迂闊を免るゝことを得べきなり右の差當り我輩の思付きたる所なれども其他之れふ類似して施設の急を要せる事業ば世に甚ざ多きとなる可し此等の事業は官とも附かず民とも附かず所謂國立の資格を有せしむ可きものあれば從來官民別立の弊を破り此等社會公共の便益と爲る事柄は官民共同して經營すること肝要なれ左をばに西洋諸國にては國立に係る事業甚だ多く現に佛國などにてハ演劇場又ハ觀古美術館等にて國立の資格を有するものもある由なり然るに獨り我國に於て國立銀行の外、別に國立の名を下す可きものはあらず申そは啻々外國人に對して耻かしきのとならず我輩は國の爲め不大よ之と惜まざるを得ざるなり蓋し此邊は計畫は官の方より指揮するも民の方より發起するも許多に資本を要し又其向きの丹誠なる人と要するとなれば朝野に輿望の重な人々が齎て其事の成否に任せざる可らず意ふに此等の事柄は財産もあり興望もある華族諸君あきの企圖も可きものにして苟も諸君の盡力せるあらば官に筋より將ひ民の筋よりして資本の出所あらざる可いさる可し即ち今我輩が官民を混同して國立の有益ある事業の我國より發起せんとを企望する所以なり

告示

10

○東京府告示第七號

卷之三

○驛遞局第十四次年報摘要 明治十七年度即十七年七月一日より十八年六月三十日に至る驛遞局事務の要領と左に摘要す

此は現に明治十七年中層設せし頭數あり

一回種種牛	六万八千九百九十二頭	二回種種牛	五万九千三百六十二頭
三回種種牛	五万二千四百四十一頭	四回種種牛	四万六千四百八十九頭
五回種種牛	四万五千一百廿八頭	六回種種牛	四万四千九十七頭

(以上本年一月十三日官報)

収支 當年度中ニ於テ收入セシ郵便税ハ金二百十四万四千二百五十一圓七十三錢五厘半收人ハ三千九百二十六圓一厘ニシテ總計二百四十八千百七十七圓七十三錢六厘半ナリ而シテ支出諸費ハ二百二十二万二千二十七圓十八錢八厘ナリ故ニ支出ノ收入ニ想過スルト七万三千八百四十九圓四十五錢二厘又之ヲ前年度ノ収支ニ比スレハ收入額二百四十八千三百三十八圓三十三錢四厘支出境額ニ四万四千三百二十五圓二十六錢五厘ヲ増加セリ〇既選出張局 驛遞出張局ハ當年度中ニ於テ開局ナク現設三十五箇所ヲ以テ驛遞局四十六ヶ管轄シ餘ノ六箇ハ本局ノ直轄ニ係レリ〇郵便局 當年度末ニ於ケル郵便局ノ現設ハ清國上流朝鮮固邊山浦元山忠仁川港ニ在ル四局及郵便支局ヲ合セナ四千八百二十八トシ之ヲ前年度末ニ比スレハ五百四十五局ヲ減レ郵便収取所ハ四百九十三箇所ニシテ前年度末ニ比スレハ百九十三箇所ヲ減シ郵便切手賣下所等ノ頓ニハ二万三千九百七十七箇所ニシテ前年度末ニ比スレハ一千九百九十九箇所ヲ減シ新便函路ハ二万三千五百六十六箇所ニシテ前年度末ニ比スレハ七千三百四十一箇所ヲ減セリ斯可郵便局及郵便切手賣下所等ノ頓ニ減セシ所以ハ駢遞出張局開設以來大ニ事業ノ改貿ヲ謀リ地況ノ冷熱戸口ノ疎密等ヲ審査シ凡テ省キ缺ヲ補ヒ置局ノ法ヲ一洗セシニ因ル〇郵便函路 當年度末ニ於ケル郵便函路ノ實里數ハ二万五千五十九里ニシテ之ヲ前年度末ノ里數ニ比スレハ九百十四里ヲ減シ又當年度中各線路ニ往復駢遞スル所ノ里程數ハ千百五十万二千八百八十六里ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ十三万三千七百八十八里ヲ増セリ〇內國郵便物 貨物當年度中ノ内國郵便物總數ハ一億千四百卅四万三千五百六箇ニシテ之ヲ前年度ノ一億千百六十万九千五十八箇ニ比スレハ二百七十三万四千四十八箇ヲ減セリ〇内國郵便物總數 前年度中ニ於ケル沒送ノ數ハ二万六千五百九十四箇ニシテ其内配達ノ途ヲ得タルモノ千四百四十七箇ナレハ其

卷之三

卷之三

款ニ活用トナリシモノハ二月五千百四十七箇トス而シテ前年度末ノ現
額二万五千五百四十一箇ノ内三万二千三百八箇ハ保有期限ノ過キテ
ルヲ以テ之ヲ棄棄セリ故ニ其減數三千百六十一箇ヲ合スレハ當年度末
ノ保存没書ハ二万八千三百四八箇トナレリ〇遭難及事故便物當年度
中郵便物ノ遭難及其他ノ車事故ニ係リシ總數ハ四百六十四箇ニシテ其中
被見シ得タルモノ益證ニ四箇遺失ニ三十五箇歷選ニ六十箇合計九十九
箇トス故ニ全ク配達シ能ハサルモノ三百六十五箇ナリ〇益難ニ攝リシ
被便物十九箇ノ内爲失券ヲ封入セシモノ書狀ニ一箇も留ニ十一箇又通
貨ヲ封入セシモノ書狀ニ七箇ニシテ銀行爲替ノ金額ハ合セテ七百九
七圓七十九銭七厘郵便爲替券ノ金額ハ七十五圓七十銭而シテ貨幣ハ十
七圓四十銭ナリ其内所謂四箇銀行爲替券二百八十四箇十四銭七厘郵便
爲替券三十圓ハ之ヲ發見シ得タリ〇又遺失ニ罹リシ郵便物總數三百四
十六箇ノ内書狀ノ銀行爲替券ヲ封入セシモノ一箇貨幣封入五箇ニシテ
銀行爲替券ハ二圓五十銭貨幣ハ二十二圓十銭ナリ其内貨幣封入二箇ノ
金額十四圓二十銭ハ内國連會社ヨリ賃借セリ故ニ全ク其蹟跡ヲ失ヒ
シモノハ監察ニ銀行爲替券五百十三圓六十五錢郵便爲替券四十石圓七
十錢貨幣十七圓四十錢遺失三貨幣六圓九十錢銀行爲替券二圓五十銭ト
ス〇内國郵便爲替當年度中提出シタル郵局爲替ノ證書ハ七十四万千
五百五十六枚ニシテ其金額ハ六百八十二万九千三百六十五圓十七銭五
厘ナリ而シテ之ニ前年度ヨリ差額キタルモノアガフレハ證書ハ七十五
万九千九百八枚其金額ハ六百九十五万九千四百二十三圓五十銭五厘ト
ナレリ」右ノ内ヨリ拂渡シタル郵便ハ七十三萬八千九百七十九枚其金
額ハ六百八十三万八十九圓九十七錢五厘トス故ニ翌年度ニ拂渡シタル郵
便ハ二万九百二十九枚其金額ハ二万九千三百四十二圓五十三銭ナリ
爲替票出二付キ收入シタル爲替券ハ六万六百六圓九十三錢七厘ナリ又
拂渡一枚ニ省スル平均金額ハ拂出ノ分九圓二十一錢拂渡ノ分九圓二十
四錢三厘ニ當レリ」前記ノ拂渡較量ヲ以テ前年度ニ比較スレハ當年度
ニ於テ證書枚数六万七千五百五十六枚ヲ増シ金額十万五千四百八十六圓
四十九錢七厘ヲ減シ爲替券一千二百八十七圓六十六錢七厘ヲ増セリ右
ノ如ク前年度ニ比シカ爲替金額ノ減少セシニ拘ラズ却リテ拂渡較量
及爲替料ノ增加ヲ見ル所以ハ既前三年報ニ述ルガ四ヶ年初年商業ノ拂渡
サルヲ以テ金融ノ閉塞ヲ來シ爲替金額ノ縮少セシニ因ルナラン然レモ
郵便爲替ハ元來社會ニ必用ナル小額ノ爲替フ主トスルニヨリ致す其本
分ニ負カサルモノト云フヘレ」爲替資金ノ原額三十一万五百圓ノ内前
年度迄二種々ノ事故ニ由リテ運用ヲ減セし額ハ合計六万二千九百七
三圓六十六錢七厘ニシテ其内外國爲替資金三組替タルモノハ白圓官換
トナソレモノ三万五千四十七圓五十二錢一周年賦トナリシモノニ二万七
千百二十六圓十二錢二厘又當年度ニ運用ヲ減セし額ハ合計千八百七
年度迄二種々ノ事故ニ由リテ運用ヲ減セし額ハ合計六万二千九百七

五厘「支
タルモノノ
百十二圓
五百七十
スル「並
爲替資金
十五圓「
年度末二
類ヲ以テ
ハ二十五
本屬ト各
百七十七
ノ四百二
三万二千
替タルモ
ニ於アハ
シモノ八圓
當年度中
ア其金額
基輔タヘル
額ハ二十
切符ノ數
五十五錢
額ハ九十九
千四百十三
九百五十
二十九人
七圖十九
九十四圓三
圓ハ四千六
仕拂タリ」